

スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



オーストラリア連邦 Australia



都市名	人口 (万人) (2018年)
シドニー	523
メルボルン	496
ブリスベン	246
パース	206
アデレード	135

出所) 国際連合「Demographic Yearbook System」(2018年時点)

目次

スポーツ関連

【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 4

【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 5
- 一人当たりスポーツ支出 7
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 8

【業界情報】

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 10
- 現地主要企業 11
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 12
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 13

【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 14
- 国際競技大会開催情報 16

【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 17
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 18

一般概況

【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 21
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 22
- 世帯所得分布 23
- 賃金 24
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響 25

【健康・医療】

- 医療費支出 26
- 疾病構造 27

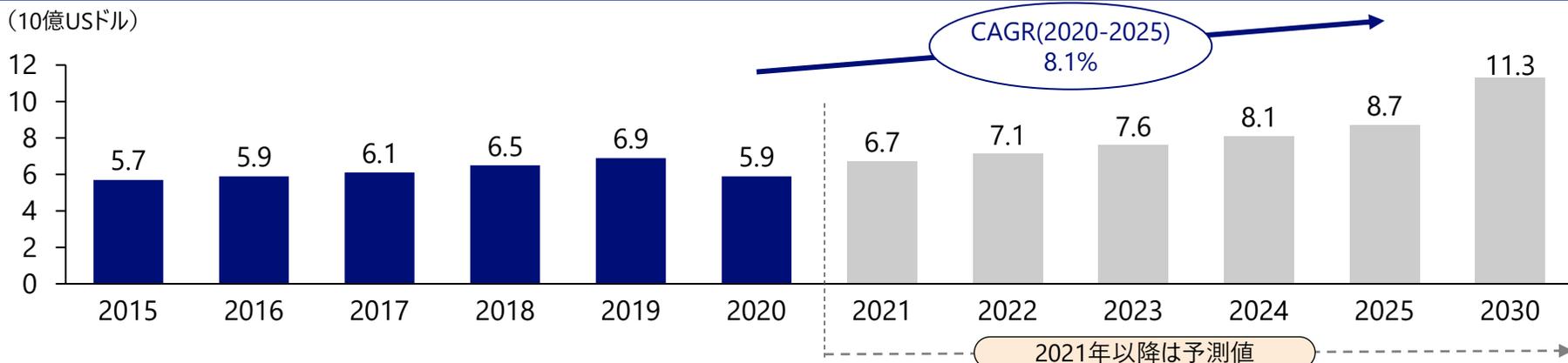
【規制】

- 外資に関する規制 28

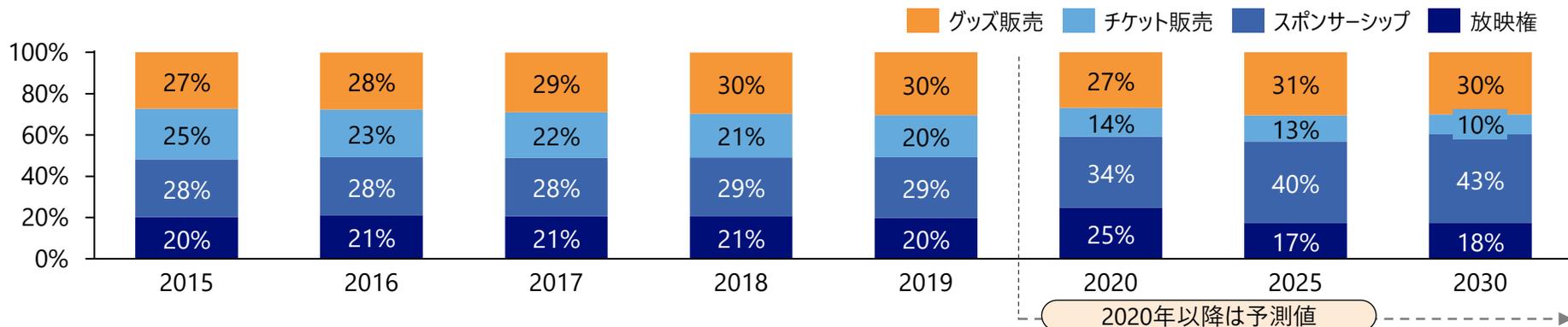
スポーツ産業市場規模推移

- 2020年のオーストラリアにおけるスポーツ産業市場規模は約59億ドルで、スポーツ産業は観光と並ぶ、国の一大産業となっている。2025年にかけても年平均成長率8.1%での成長が予測されている。これは国でeスポーツの人気の高まっていることや、政府の基本計画「Sport 2030」におけるスポーツ促進のイニシアチブによるものが想定される。
- リーグ、クラブへのスポンサーシップの動きが盛んで、スポンサーシップの市場規模割合が大きいことが確認される。

スポーツ産業市場規模推移



コンテンツ別市場規模シェア推移



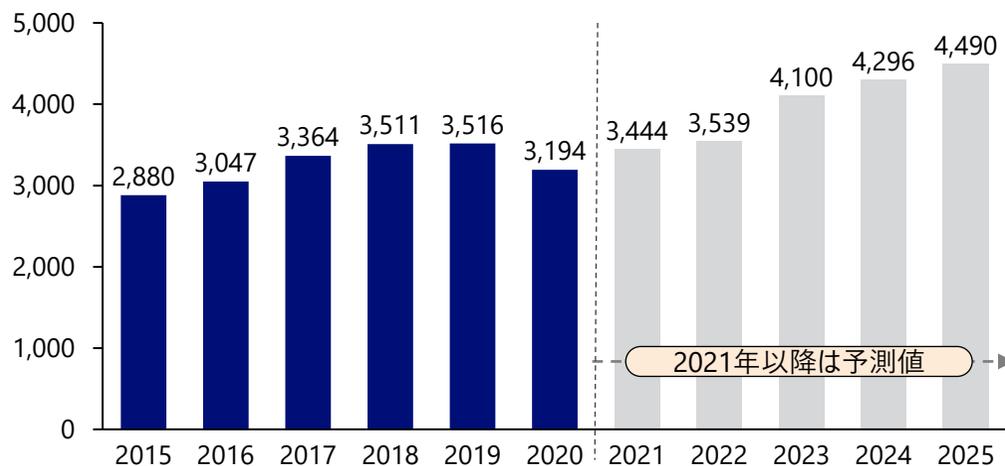
主要コンテンツ市場情報 (スポーツウェア市場)

👕 スポーツウェア市場

- 2020年のオーストラリアのスポーツウェア市場は約32億ドル (約3,600億円)。
CAGRは3.0% (2020-2025) と予測されている。
- 2017年時点で、Nike Australia、adidas Australia、Asics Oceaniaが市場シェアの上位を占めている

スポーツウェア市場規模推移

(100万ドル)



(出所) Euromonitor International PassportよりNRI作成

🏠 スポーツテック市場

- オーストラリアのスポーツテック産業は成長しており、スポーツテック企業が500社以上存在している。スポーツチーム、企業、大学、研究者、投資家、政府と共にスポーツテック産業のエコシステムが作り上げられている。
- スポーツイベントが盛んなため、オーストラリア国内には、世界に誇る大規模なスタジアムやアリーナが数多く存在し、最先端のテクノロジーを活用して高いファンエンゲージメントを実現し、収益性の向上につなげている。
- オーストラリアの大学ではスポーツ分野の人材を育てるための教育が充実しており、特にスポーツ科学の分野が高く評価されていて、世界大学ランキングで、常に上位3校に入るなど世界トップクラス。高い学術レベルが、質のよいスポーツテクノロジーの開発・技術検証を支えている。加えて、高い国際競技力とスポーツ文化が深く根付いていることから、特にスポーツのパフォーマンス向上を助けるためのテクノロジーが評価されている。

(出所) オーストラリア貿易投資促進庁「スポーツ産業」

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

- オーストラリアにおけるスポーツ産業の従業者数割合は0.03%と他国と比較しても少ないが、1事業者当たりの売上が約2億円と日本よりも大きく、大規模事業者が多い。

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474
タイ	0.08%	14,659	145,558
ベトナム	0.05%	1,821	450,457
インド	0.05%	173,683	16,521
オーストラリア	0.03%	3,036	1,946,384

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

現地で盛んな競技

- 国内の人気スポーツとしてオーストラリアンフットボール*、ラグビー、ゴルフ、クリケット等が挙げられる。

*楕円球形のボールを用いて1チーム18人の2チーム間で行われるフットボール

- 国際大会で好成績を収めているスポーツは、競泳、陸上、ボート等。

東京2020大会におけるオーストラリアの競技別メダル獲得数

オリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
競泳	20	9	3	8
ボート	4	2	0	2
陸上競技	3	0	1	2
セーリング	2	2	0	0
カヌー (スラローム)	2	1	0	1
馬術	2	0	1	1
カヌー (スプリント)	1	1	0	0
自転車競技 (BMXフリースタイル)	1	1	0	0
スケートボード	1	1	0	0

競技	メダル総数	金	銀	銅
ビーチバレーボール	1	0	1	0
ホッケー	1	0	1	0
サーフィン	1	0	0	1
自転車競技 (トラック)	1	0	0	1
テニス	1	0	0	1
飛込	1	0	0	1
バスケットボール	1	0	0	1
ボクシング	1	0	0	1
マラソンスイミング	1	0	0	1

(出所) Olympics.com「メダル順位」

現地で盛んな競技

東京2020大会におけるオーストラリアの競技別メダル獲得数

パラリンピック

競技	メダル総数	金	銀	銅
水泳	33	8	10	15
陸上競技	19	4	7	8
自転車競技 (ロード)	7	1	2	4
自転車競技 (トラック)	6	3	2	1
卓球	6	2	4	0
カヌー (スプリント)	3	2	1	0
車いすテニス	2	1	1	0
トライアスロン	1	0	1	0
ボート	1	0	1	0
テコンドー	1	0	0	1
ボッチャ	1	0	0	1

一人当たりスポーツ支出

■ オーストラリアにおける2020年の一人当たりスポーツ支出は229.7ドル。

一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※...「一人当たりスポーツ支出」は2020年の値。

主なスポーツリーグ

- オーストラリアンフットボール、13人制「ラグビーリーグ」、バスケットボール、ラグビー、サッカー、クリケットのリーグが活動している。

主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム**	主要スポンサー***
Australian Football League	オーストラリアンフットボール	1897	18	3月～9月	約680万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Melbourne Demons Western Bulldogs Port Adelaide Geelong Cats 	<ul style="list-style-type: none"> Toyota, McDonald's, Telstra, Carlton Draught
Super Rugby	ラグビー	1996	12	2月～5月	約250万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Queensland Reds Brumbies Western Force 	<ul style="list-style-type: none"> Harvey Norman, Stan Sport, Nine, Land Rover, FedEx
National Basketball League (NBL)	バスケットボール	1979	10	1月～6月	約154万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Melbourne United Perth Wildcats Illawarra Hawks 	<ul style="list-style-type: none"> Hungry Jack's, MG Motor, SportsBet, Chemist Warehouse, La Trove Financial
Big Bash League	クリケット	2005	8	12月～2月	約120万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Sydney Sixers Perth Scorchers Brisbane Heat 	<ul style="list-style-type: none"> KFC, Nike, Fox Cricket, Toyota, 7plus, BKT, 47 Brand
National Rugby League	ラグビーリーグ	1908	16	3月～10月	35万～65万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Penrith Panthers South Sydney Rabbitohs Manly Warringaha Sea Eagles Melbourne Storm 	<ul style="list-style-type: none"> Telstra, Kayo, Foxtel, 9Now, KFC
A-League	サッカー	2004	12	12月～6月	約17万人 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> Melbourne City Sydney FC Adelaide United Macarthur FC 	<ul style="list-style-type: none"> Isuzu UTE, Liberty, McDonald's, PSC Insurance Brokers, Paramount

*直近のシーズンにおける観客動員数

**直近のシーズンにおける順位上位チームを記載

***リーグの主要スポンサー企業を記載

主なスタジアム

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Melbourne Cricket Ground	メルボルン	100,024	1853 (改修: 2013)
Stadium Australia	シドニー	83,500	1999 (改修: 2003)
Optus Stadium	パース	60,000	2018
Marvel Stadium	メルボルン	56,347	2000
Suncorp Stadium	ブリスベン	53,223	1914 (改修: 2003)

出所) World Stadiums

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
スーパーラグビー (ラグビー)	Queensland Reds	Queensland Government, Australian Government, Westpac, Santos, Canterbury, St George, Rio Tinto, Alliance Airlines, Westpoint Autos, TFH	David Hanham	埼玉ワイルドナイツ
スーパーラグビー (ラグビー)	Melbourne Rebels	Ebury, ICS Service Solutions, La Trobe University, BRC Group, Ontoit, Yakult, Mimecast, Victorian Responsible Gambling Foundation, Kintetsu Liners, JCDecaux	Paul Docherty	花園近鉄ライナーズ
スーパーラグビー (ラグビー)	Western Force	Altrad, Fortescue, NRW Holdings, Goodyear, UWA, SRG Group, CD Dodd, PS Structures, Retravision, Dynasty Sport, Harvey Bee	Tony Lewis *ニュージーランドラグビーのアドミニストレーター経験を持つ、WA州ラグビー連盟の代表選手	浦安D-Rocks
Aリーグ・メン (サッカー)	Melbourne City FC	Eithad Airways, Asahi, Hostplus, McDonalds, Nissan, Origin, Puma, Cisco, EA Sports, LayBuy	Brad Rowse *メルボルンFCをシティフットボールグループ (CFG) における主要チームに成長させた立役者	横浜F・マリノス

現地主要企業 (スポーツ用品とフィットネス業界)

- オーストラリアには、60以上のスポーツ用品、フィットネスクラブ企業が存在する。NIKEやADIDASといった外資企業も立地している。
- 売上高が2019年度最大のSuper Retail Group Ltdは、オーストラリア、ニュージーランドで事業を展開する現地企業である。

現地主要企業 (スポーツ用品とフィットネス業界)

企業名称	カテゴリ	売上 (百万円、2019年度)	概要
Super Retail Group Ltd	スポーツ用品	274,809	オーストラリア、ニュージーランドで事業を展開。スポーツ用品、自動車用品、キャンプ、釣り、ボート用品等を販売
FITNESS AND LIFESTYLE GROUP TOPCO PTY LTD	フィットネスクラブ	43,689	ヘルス&フィットネスセンターと体育館の運営
NIKE AUSTRALIA PTY. LTD.	スポーツ用品	37,563	衣料品およびシューズの卸売、スポーツおよびキャンプ用品の小売り、おもちゃおよびスポーツ用品の卸売、衣料品の小売り
Viva Leisure Ltd	フィットネスクラブ	6,653	オーストラリアを拠点とする企業で、ヘルス&レジャー業界でヘルスクラブを運営
LIFE FITNESS AUSTRALIA PTY. LTD.	フィットネスクラブ	5,280	専門の産業機械および装置の卸売、ヘルスおよびフィットネスセンター、体育館の運営
Castle Hill RSL Club Ltd	フィットネスクラブ	3,222	エンターテインメントサービス、スポーツクラブの所有および運営
Next Generation Clubs Australia Pty Ltd	フィットネスクラブ	2,215	ヘルス、フィットネス、ライフスタイルクラブの運営

教育分野におけるスポーツの活用動向

Sport Australia

- オーストラリア政府の健康部門であるSport Australia は、全国の各地域にあるクラブや様々なスポーツコミュニティのコーチが、すべての人に有意義なスポーツ体験を提供できるよう無料のオンラインコースを開発し支援している。
- 新しいコミュニティコーチングエッセンシャルスキルコースは、Sport Australia が Sport Integrity Australia と提携してコース開発を行い、地域のクラブ、ボランティアコーチ、そしてすべてのプレーヤーとアスリートに対するサポートを提供することで、スポーツ界全体に貢献している。またコーチにとって重要な安全保護と子供の安全慣行に関する情報も紹介している。
- Sport Australia は、ウェビナー、新しいポッドキャスト、さらにコースの内容を拡張するために設計された専用のマスタークラスなど、コミュニティコーチをサポートするための多くのリソースを今後も提供していく。

MOOC on sports diplomacy

- オーストラリア政府の外務貿易省はラトロブ大学と提携して、スポーツ外交に関して新しく MOOC (Massive Open Online Course) : 大規模公開オンラインコースを開始した。
- このMOOCでは、オーストラリアを代表するアスリート、スポーツ管理者、コーチなど専門家によるガイダンスが提供され、オーストラリアのスポーツの価値観とスポーツのパワーの可能性をよく理解し、スポーツを通じた外交大使になるためのスキル、エチケットなどを身につけることが可能となる。
- また、スポーツ外交に関しては各国代表がコート、プール、スタジアムを超えて互いにプラスの影響を与えることを確実にするための実用的なヒント、アドバイス、および洞察が含まれている。
- コースは、モジュール 1: オーストラリアのスポーツ外交と政策、モジュール 2: オーストラリアのスポーツ文化と価値観、モジュール 3: 文化的能力とスポーツ、モジュール 4: スポーツ関係者のための外交トレードクラフトの 4 つのモジュールで構成されている。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金 (A\$)	出資比率(%)	従業員数	事業内容
Yamaha Motor Australia Pty.Ltd.	ヤマハ発動機	1,254万	100	不明	二輪車, A T V, ゴルフカー, 舟艇, 船外機, ウォータービークル, 特機の輸入・販売
Srixon Sports Australasia Pty.Ltd.	住友ゴム工業	650万	100	不明	ゴルフボール, クラブ等の販売
Mizuno Corp.Australia Pty.Ltd.	ミズノ	250万	100	40	スポーツ品の販売
Asics Oceania Pty.Ltd.	アシックス	200万	100	不明	スポーツ用品等の販売
Daiwa(Australia)Pty.Ltd.	グローブライド	30万	100	35	釣用品, スポーツ用品の販売
Shimano Australia Fishing Pty.Ltd.	シマノ	2,000	間接出資	38	釣具の販売
Lakelands Golf Club	シャトレーゼホールディングス	不明	間接出資	不明	ゴルフ場の運営

(出所) 東洋経済新報社『海外進出企業総覧 (国別編)』(2021年)よりNRI作成

商談会・展示会開催情報

オーストラリアで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（1/2）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
AUSTRALASIAN GAMING EXPO	シドニー	GTA (Gaming Technology Association)	毎年	ゲーム、スポーツ用品
HEALTH, WELLNESS & FITNESS EXPO - SYDNEY	シドニー	The Bilson Company Pty Ltd	毎年	健康、フィットネス、ウェルネス、栄養
FITNESS + WELLNESS AUSTRALIA	シドニー	National Media Pty Ltd.	毎年	フィットネス、ウェルネス
SYDNEY INTERNATIONAL BOAT SHOW	シドニー	The Boating Industry Association of NSW Ltd	毎年	ボート
The Franchising & Business Opportunities Expo	シドニー	Specialised Events	1年に3回以上	フランチャイザー、フランチャイズ加盟店
NATIONAL 4x4 & OUTDOORS SHOW, FISHING & BOATING EXPO MELBOURNE	メルボルン	ETF (Exhibitions & Trade Fairs) Melbourne	毎年	アウトドアショー、フィッシング、ボート
HEALTH, WELLNESS & FITNESS EXPO - MELBOURNE	メルボルン	The Bilson Company Pty Ltd	毎年	健康、フィットネス、ウェルネス、栄養
SPASA POOL & SPA EXPO + OUTDOOR LIVING	メルボルン	IEC Group Pty Ltd	毎年	プール & スパエキスポ+アウトドアリビング

商談会・展示会開催情報

オーストラリアで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会（2/2）

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
NATIONAL 4×4 & OUTDOORS SHOW, FISHING & BOATING EXPO BRISBANE	ブリスベン	ETF (Exhibitions & Trade Fairs) Melbourne	毎年	アウトドアショー、フィッシング、ボート
HEALTH, WELLNESS & FITNESS EXPO - BRISBANE	ブリスベン	The Bilson Company Pty Ltd	毎年	健康、フィットネス、ウェルネス、栄養
HEALTH, WELLNESS & FITNESS EXPO – ADELAIDE	アデレード	The Bilson Company Pty Ltd	毎年	健康、フィットネス、ウェルネス、栄養
ADELAIDE BOAT SHOW	アデレード	Kym Jones Exhibitions & Events	毎年	ボート
SANCTUARY COVE INTERNATIONAL BOAT SHOW	ゴールドコースト	Sanctuary Cove International Boat Show	毎年	ボート
GERALDTON CARAVAN, CAMPING & LEISURE SHOW	ジェラルトン	Premiere Events	毎年	アウトドアアドベンチャー
YORK MOTORCYCLE FESTIVAL	ヨーク	Premiere Events	毎年	バイク、自転車用アクセサリ

国際競技大会開催情報

- 2032年にブリスベンで夏季オリンピック・パラリンピックの開催が予定されている。

オーストラリアで開催予定の国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	参加国数	参加選手数	摘要
2023 FIFA女子ワールドカップ	2023年	国際サッカー連盟	32	—	ニュージーランドとの共催
世界ボート選手権	2025年	国際ボート連盟	—	—	—
ネットボールワールドカップ	2027年	国際ネットボール連盟	—	—	—
2032年夏季オリンピック・パラリンピック	2032年	国際オリンピック委員会 (IOC)	—	—	ブリスベンで開催

スポーツ基本計画概要

- オーストラリアでは、「SPORT 2030」の中で、主要4分野におけるスポーツ施策の方向性が整理されている。

オーストラリアにおけるスポーツ基本計画概要

計画名称	SPORT 2030	策定年	2018年
計画概要	2030年以降のスポーツ分野における成功のためのプラットフォーム構築に向けた4分野における施策を整理		
主要目標・施策	<ol style="list-style-type: none">よりアクティブなオーストラリアへ<ul style="list-style-type: none">全てのオーストラリア人がスポーツにアクセスできるようになるためのユニバーサルデザイン設計およびスポーツ施設への投資国内・国際舞台におけるスポーツの成功<ul style="list-style-type: none">国立スポーツ研究所、全国のスポーツ組織への支援、現役および引退アスリートへの支援スポーツ・インテグリティの保護<ul style="list-style-type: none">スポーツガバナンスの取り決め、スポーツ環境における子供の保護スポーツ産業の強化<ul style="list-style-type: none">新たなスポーツ外交戦略、主要なスポーツイベントの開催、スポーツ関連データの整備		

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、**世界40位**。
- 特に課題が残る項目は「飢餓撲滅、食料安全保障」、「持続可能な消費と生産」、「気候変動への対処」、「陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性」、「実施手段の強化と持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップの活性化」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- : SDGsを達成している
- : 課題が残る
- : 重要課題が残る
- : 主要課題が残る
- : 情報入手不可
- ↑ : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ : 徐々に改善
- : 停滞
- ↓ : 悪化
- : 傾向把握不可

「女性の活躍推進」に関する取組

政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「ジェンダー平等」の項目は、重要課題が残っている状況。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
 - 教育を受けた平均年数の男女比
 - 労働力率の男女比
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 女性議員の議席数
 - 男女の賃金格差

「女性の活躍推進」×スポーツの事例

- 女子サッカーにおける「Our Game」イニシアチブ（2023年）
 - 2023年、オーストラリアサッカー連盟（FOOTBALL AUSTRALIA）によってサッカークラブを育成するプログラム「Game Changer」は、サッカー界における女子・女性の能力、ネットワーク、教育の構築を特に焦点を当てた「One Star Award」というクラブの表彰制度を開始した。
 - 「One Star Award」では、一連のタスクとモジュールを完了し、「スター」のステータスを取得したクラブは資金、トレーニングコース、特別な出演機会、体験、割引、ユニークなサッカーの機会等、さまざまな形で表彰や報酬を得ることができる。
 - この制度は、女性や女子の活躍を応援する取組「Our Game」を評価指標の1つに組み込むことで、クラブが女子・女性の参加体験の質を向上させ、期待される参加率を達成させ、好ましいプレー環境を確立することに寄与している。

「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」に関する取組

政府による「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」に関する取組

- Sustainable Development Report 2023によると、「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」の項目は、課題が残っている状況。
- 「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - どの季節も利用可能な道路へアクセスできる農村人口
 - インターネットを利用できる人口
 - モバイルブロードバンド利用率
 - 物流パフォーマンス指数：貿易・輸送関連インフラの質
 - タイムズ・ハイヤー・エデュケーション世界ランキング：トップ3大学の平均点
 - 学術誌に掲載された論文数
 - 研究開発費
 - 研究者数
 - 高等教育機関におけるSTEM分野出身者の女性比率
- 「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 三極特許ファミリー数

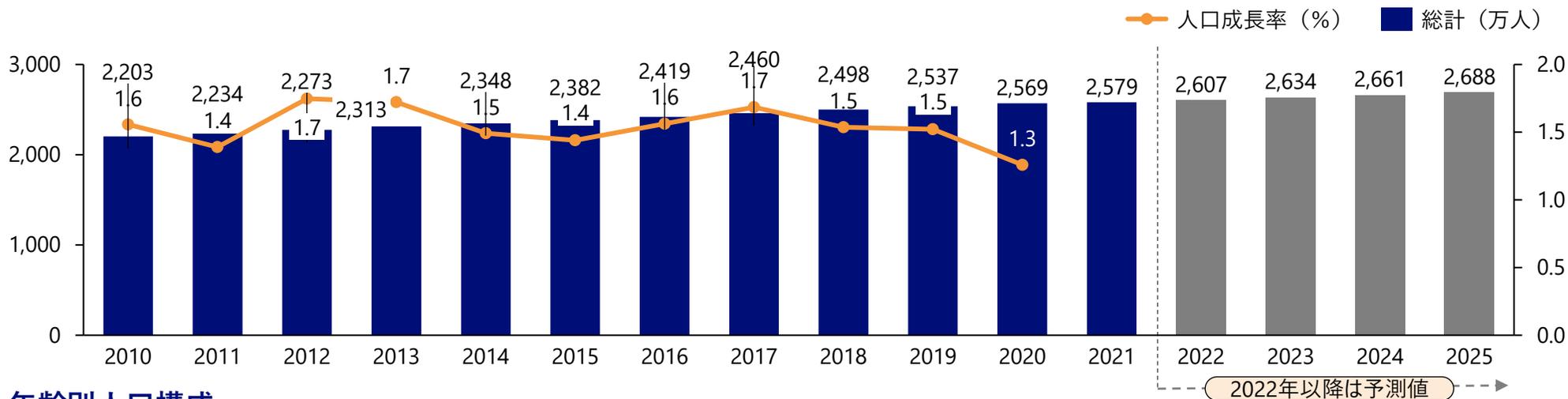
「強靱なインフラ、工業化・イノベーション」×スポーツの事例

- 「The Australian Sport Innovation Network Strategy」(2022年)
 - オーストラリアスポーツ委員会は、競技力の向上や経済成長を促進するための戦略「The Australian Sport Innovation Network Strategy」を策定した。
 - この戦略は、「パートナーシップやイノベーションによる公共部門・民間部門のパフォーマンス向上」、「最新かつ関連性の高い情報を収集・配信するプラットフォームの提供」、「スポーツテクノロジーとイノベーションの育成による雇用と経済的繁栄の創出」、「よりオーストラリアをアクティブにする効果的なシステムの育成」を目指す戦略である。
 - そのために、「イノベーション・コネクター」、「データとナレッジセンター」、「複雑な問題解決のコラボレーター」、「エンゲージメント」、「教育とイベント」、「アクセラレーター」、「イノベーション・インキュベーターとローンチパッド」の6つのサービスを提供するとしている。

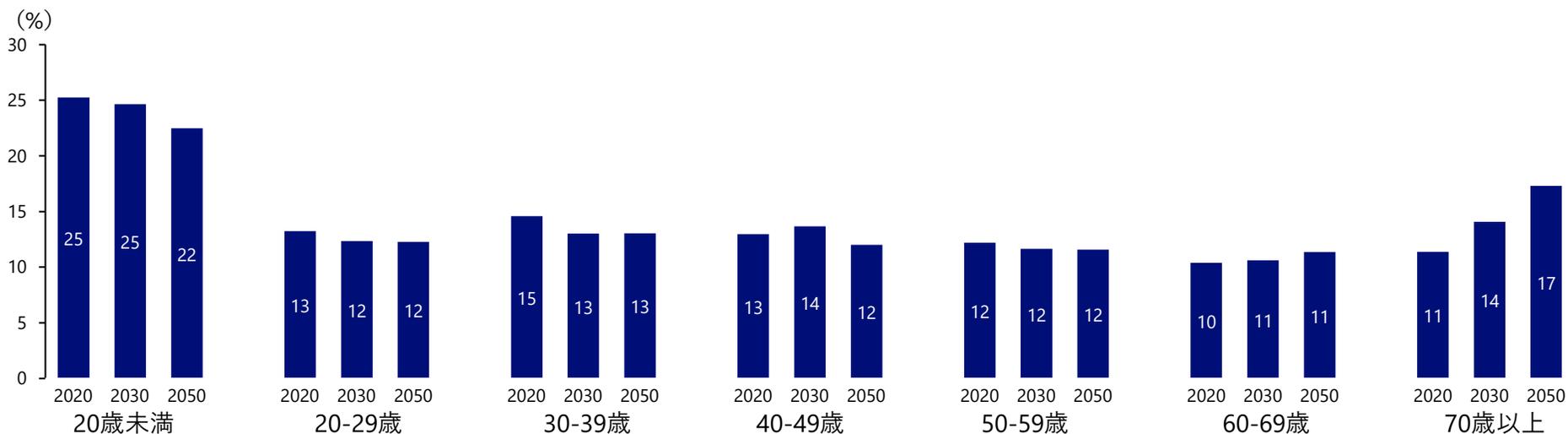


人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



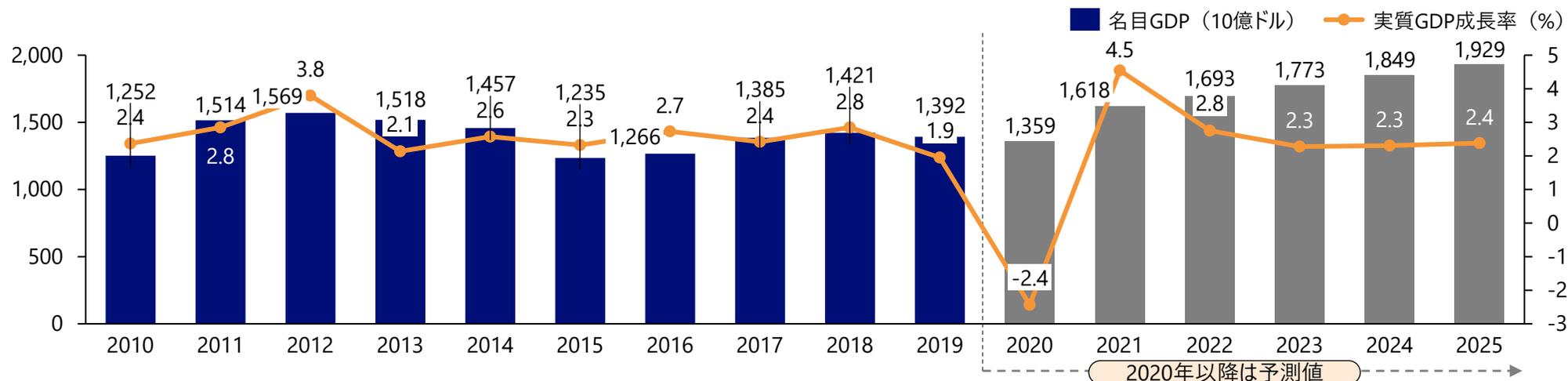
年齢別人口構成



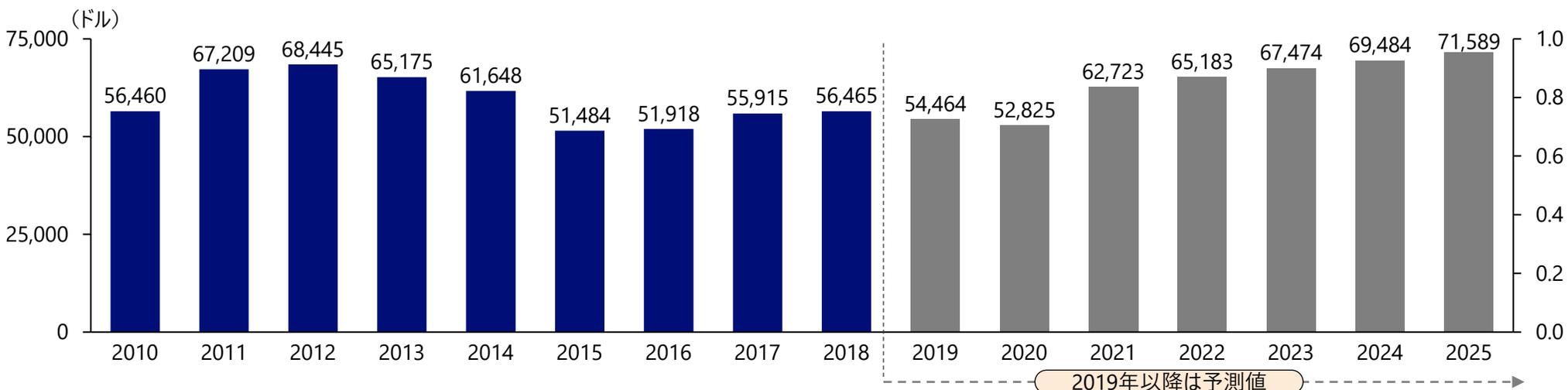
(出所) 世界銀行「World Development Indicators」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

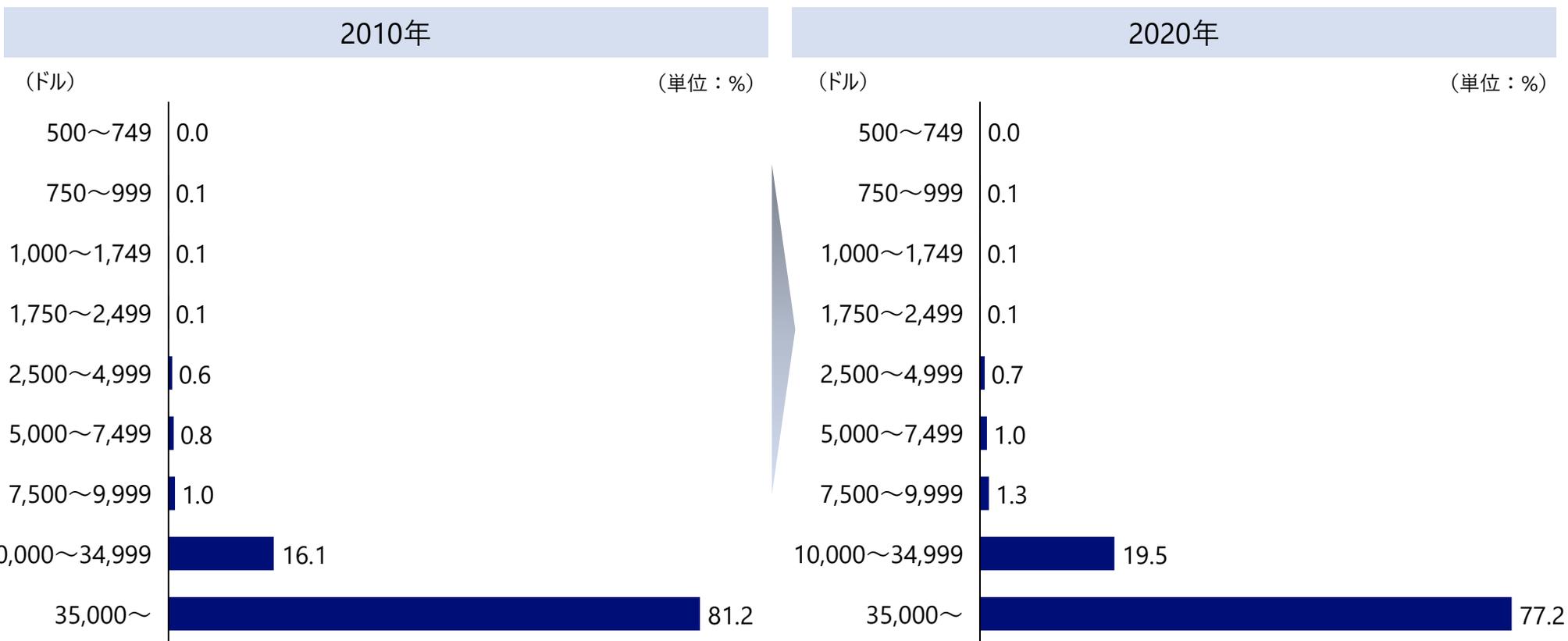


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

- 高所得層（世帯所得35,000ドル～）が2020年で77.2%。
- 2010年には17.9%であった中間所得層（世帯所得5,000～34,999ドル）が、2020年には21.8%に増加。

世帯所得分布



(出所) ユーロモニター

賃金

■ オーストラリアの製造業に従事する作業員の年間実負担額は、52,318ドル（日本円で約600万円）

オーストラリアの製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

		基本給・月給 (単位：米ドル)	年間実負担額 (単位：米ドル)	前年比昇給率(%) (2019→2020)	前年比昇給率(%) (2020→2021)
製造業	作業員	3,723	52,318	1.5	1.9
	エンジニア	5,326	72,695		
	マネージャー	6,789	90,153		
非製造業	スタッフ	4,438	61,737	2.2	1.9
	マネージャー	7,182	106,723		

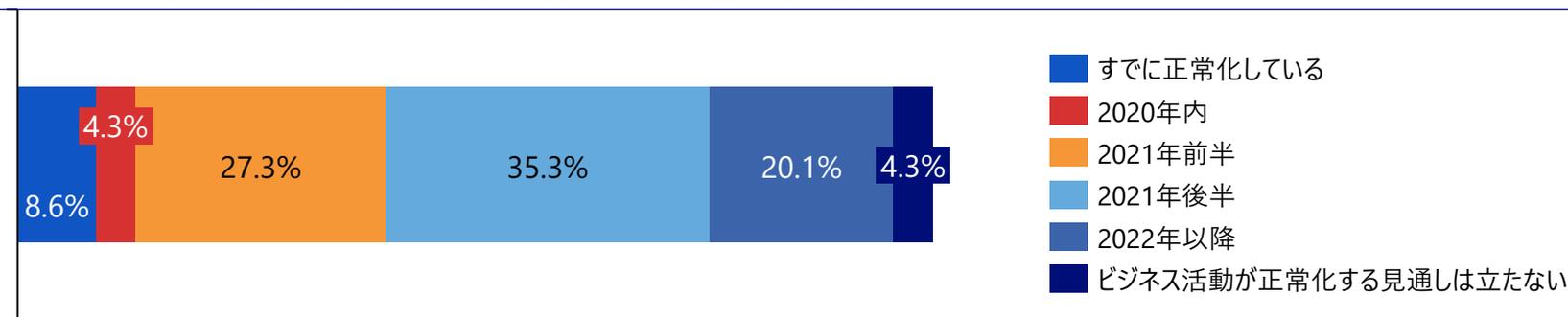
- 基本給：諸手当を除いた給与、2020年8月時点。
 - 年間実負担額：一人あたり社員に対する負担総額(基本給、諸手当、社会保障、残業、賞与などの年間合計。退職金は除く。2020年(度)時点。)
 - 作業員：正規雇用の一般工職で実務経験3年程度の場合。ただし請負労働者および試用期間中の作業員は除く。
 - エンジニア：正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
 - マネージャー（製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
 - スタッフ：正規雇用の一般職で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
 - マネージャー（非製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ※各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2020年8月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表)で米ドルに換算。

(出所) 2020年度 海外進出日系企業実態調査 (アジア・オセアニア編)

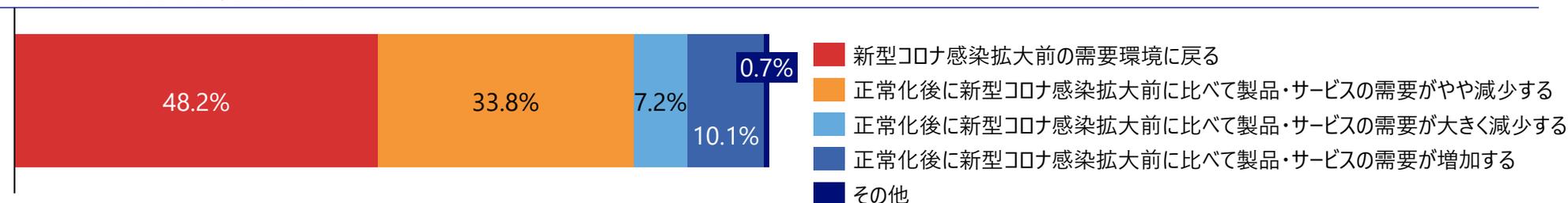
新型コロナウイルス感染拡大の影響（2020年8月時点、現地進出日系企業回答）

- オーストラリアに進出する日系企業の20%以上がビジネス活動が正常化するのには2022年以降と回答している。
- 新型コロナウイルス感染が正常化した後の需要の見通しは、「感染拡大前の需要環境に戻る」の回答が48.2%。

新型コロナウイルス感染拡大後ビジネス活動が正常化する時期



正常化後の需要環境見込み

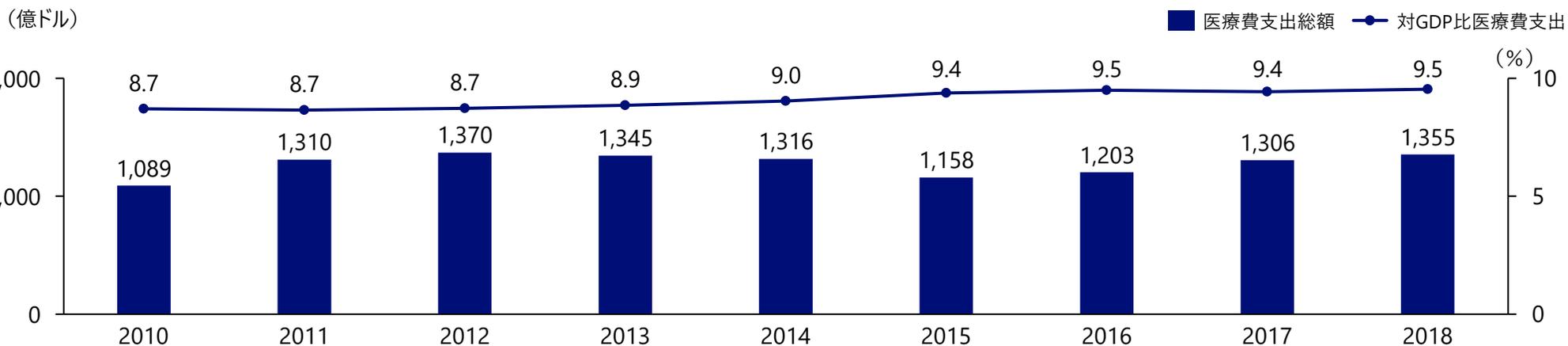


医療費支出

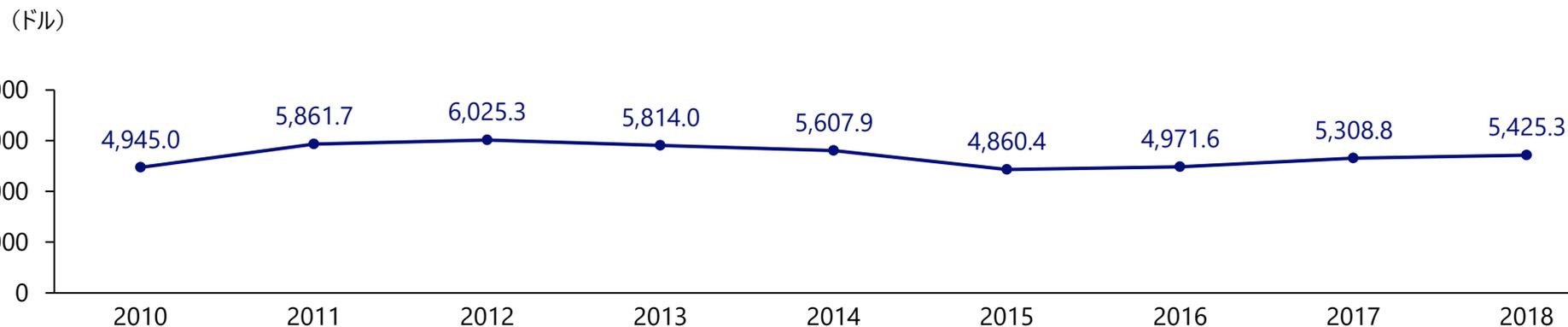
■ 2018年の医療費支出は1,355億ドル（約15.4兆円）で、対GDP比で9.5%。

■ 2018年の一人当たり医療費は5,425.3ドル（約62万円）であった。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

■ 主要疾患 (死亡要因) の内訳としては、虚血性心疾患が最も多く、脳卒中やアルツハイマー病が多い。

疾病構造 (死亡要因) の内訳 (2019年)

順位	疾病名	割合
1	Ischemic heart disease (虚血性心疾患)	15.59%
2	Stroke (脳卒中)	7.47%
3	Alzheimer's disease (アルツハイマー病)	6.58%
4	Lung cancer (肺がん)	5.87%
5	COPD (慢性閉塞性肺疾患)	5.44%
6	Colorectal cancer (結腸直腸がん)	3.94%
7	Chronic kidney disease (慢性腎臓病)	3.05%
8	Prostate cancer (前立腺がん)	2.66%
9	Lower respiratory infect (下呼吸器感染症)	2.50%
10	Diabetes (糖尿病)	2.48%

順位	疾病名	割合
11	Breast cancer (乳がん)	2.17%
12	Falls (転倒)	2.12%
13	Pancreatic cancer (膵臓がん)	2.08%
14	Atrial Fibrillation (心房細動)	2.00%
15	Self-harm (自傷)	1.70%
16	Parkinson's disease (パーキンソン病)	1.41%
17	Cirrhosis (肝硬変)	1.30%
18	Leukemia (白血病)	1.16%
19	Lymphoma (リンパ腫)	1.15%
20	Endo/metab/blood/immune (内分泌, 栄養及び代謝疾患)	1.12%

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群 (出所: 厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」)

(出所) 保健指標評価研究所 (IHME) 「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリア政府は外資の必要性を認識し、オーストラリア経済の発展につながる外国資本を基本的に歓迎する方針を採っている。 外国人投資家が国家安全保障通知義務行為*と定義される行為を行う場合は、買収額など事業の価値に関わらず、外国投資審査委員会（FIRB）の承認が義務付けられる。 <p>*国家安全保障通知義務行為とは、インフラ、通信、メディア、国防関連など国家安全保障に関する事業に分類される事業における経営への関与など直接的権利の取得（基本10%以上）や新規開業、国防上重要な土地や施設の権利取得などが含まれる。</p>
出資比率	<ul style="list-style-type: none"> 業種によって外資の出資比率が制限されるケースあり <ul style="list-style-type: none"> 銀行業、民間航空業、空港運営業、海運業、メディア関連、通信業、農林水産業等
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> 外国人投資家および居住者などの外資による土地所有に関しては、ほとんどの場合、権利を取得する前に外国投資審査委員会（FIRB）の認可が必要となっている。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。
その他規制	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。